

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○トピック 檜葉町におけるサツマイモ栽培へのお手伝い	—	1
○原子力損害賠償の進捗状況	—————	2 ～ 4
○除染等推進活動状況	—————	5 ～ 6
○復興推進活動状況	—————	7 ～ 8
○流通促進活動状況	—————	9

トピック：檜葉町におけるサツマイモ栽培へのお手伝い

- 檜葉町では、2017年より農業復興プロジェクトとしてサツマイモの栽培を実施しており、当社は、苗植えや収穫などの作業面でお手伝いを実施
- 檜葉町の農業復興プロジェクトには、「白ハト食品工業(株)」様が参画しており、同社の子会社である「(株)しろはとファーム」様は、檜葉町での本格的なサツマイモ生産事業に取り組むべく、「(株)福島しろはとファーム」を今年4月に設立。「(株)福島しろはとファーム」は、今後、檜葉町でサツマイモ生産実績を積み重ね、生産規模の拡大を計画
- 当社は、2019年10月、「(株)福島しろはとファーム」へ出資し、同社とサツマイモ生産事業を進め、引き続き、檜葉町における農業再生へのお手伝いを進めてまいります

1. これまでの主な取り組み（2017年～）



2. 今後の予定

【福島ゴールド 収穫祭2019】

- ◆主催：(株)福島しろはとファーム
- ◆日程：2019年11月8日（金）10時～
- ◆場所：アンフィニ(株)福島工場様近く
※檜葉町字下繁岡北谷地16
- ◆内容：サツマイモの収穫や試食会の他、スマート農業「※」のデモンストレーション等も予定

「※」スマート農業

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農業

「福島ゴールド 収穫祭2019」の開催案内

収穫祭 11/8 (金) 10:00～17:00

福島県檜葉町 ふくしまゴールド

収穫祭当日のスケジュール

10:00	10:30	11:00	12:00
農産物紹介	開会式	収穫開始	閉会式

収穫祭会場
アンフィニ(株)福島工場にナビを指定、〒970-0002 福島県檜葉町字下繁岡北谷地16

①会場から会場の方角に144号線を走り、農産物1号線との合流地点で右折。
②道幅391号線2つ目の交差点を右折した方が収穫祭会場となります。
【アンフィニ(株)福島工場様近所となります】

【当日の連絡先】
〒970-0100-4013 福島 070-2285-5885

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

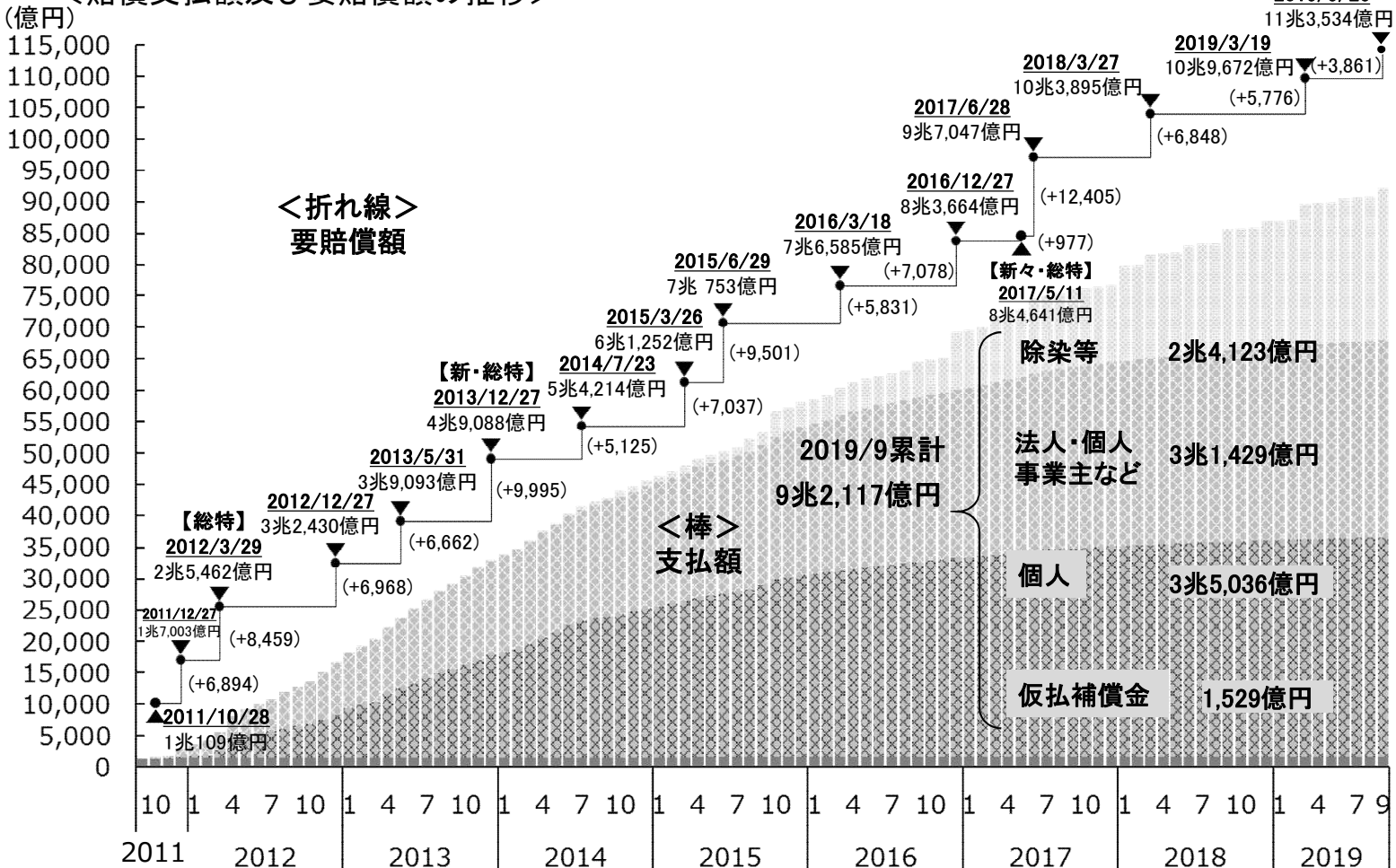
2019年9月30日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,411,000件	約501,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,281,000件	約432,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,036億円	約5兆5,552億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約9兆0,588億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約9兆2,117億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (9/26資金援助額変更申請)	合意いただけの実績※1 (2019年9月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,698億円	19,876億円
検査費用等	3,422億円	2,740億円
精神的損害	10,960億円	10,849億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,689億円	2,660億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	30,802億円	29,594億円
営業損害	5,362億円	5,245億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,306億円	17,932億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,199億円	2,488億円
間接損害等その他	3,933億円	3,928億円
III. 共通・その他	21,811億円	18,529億円
財物価値の喪失又は減少等	15,134億円	14,004億円
住居確保損害	6,427億円	4,274億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	40,221億円	24,122億円
合計	113,534億円	92,123億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 81%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2019年10月4日現在

申立件数		25,317件
解決件数	全部和解件数	19,505件
	取下げ件数	2,682件
	打切り件数	2,068件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1,060件

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより






※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは25,183件(9月末現在)

※当社に送達された件数は月平均で約114件(2019年度)

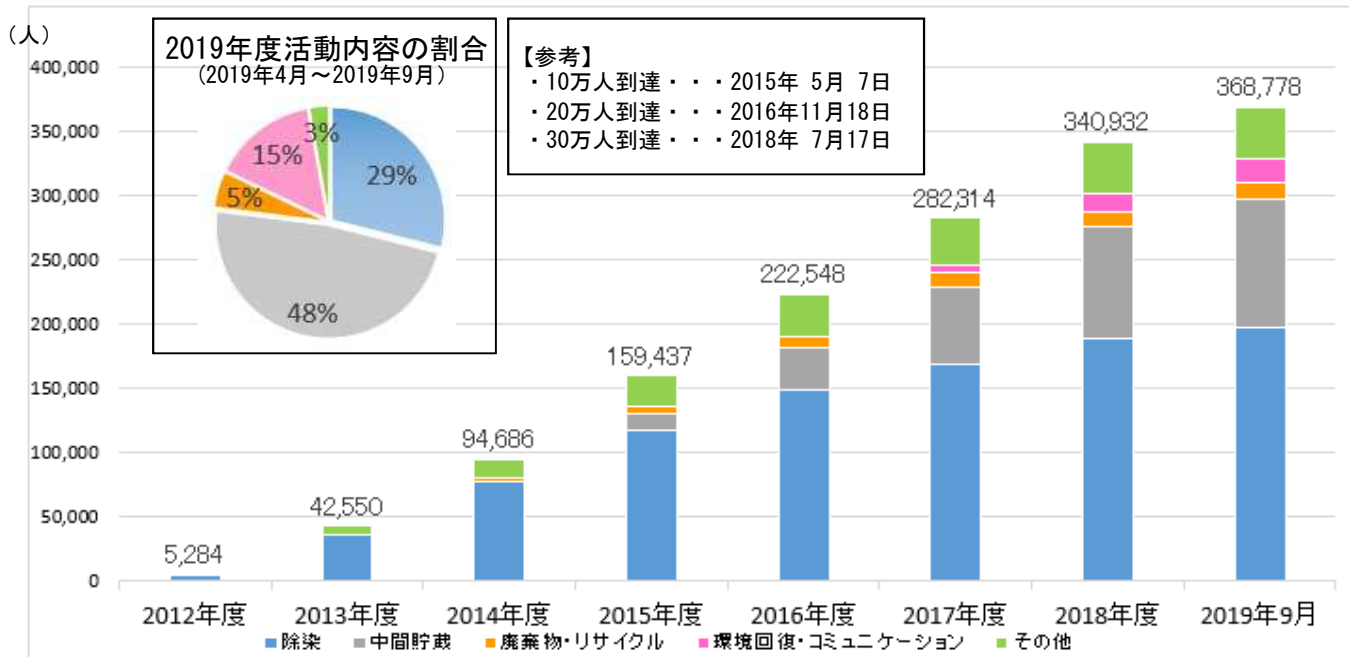
※現在進行中の件数のうち、42件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,194億円

9月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,397人 (29%)	2,073人 (43%)	524人 (11%)	658人 (14%)	126人 (3%)
9月の活動実績合計				4,778人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				368,778人

[活動内容別実績（累積）] 2013年1月～2019年9月



至近の主な取り組み



営農再開に向けた地力回復への協力

営農再開に向けた地力回復への協力

実施時期 2019年7月 ~ ※継続中

実施場所 大熊町（大川原地区）

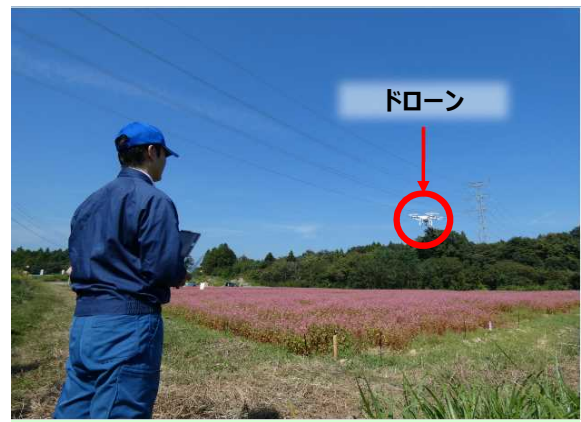
実施人数 社員 延べ 85人

実施内容 大熊町、大熊町農業復興組合様からの要請により、除染後の農地保全管理の一環で実施された赤花ソバの緑肥試験栽培(※)へ協力

※緑肥試験栽培とは、肥沃な土地にすることを目的に、緑肥植物を栽培し、収穫せずに土と一緒に耕して肥料にする手法の試験栽培



赤花ソバの開花状況



当社社員によるドローン操縦の様子







緑肥効果、景観向上効果を目指す秋まき植物のイメージ

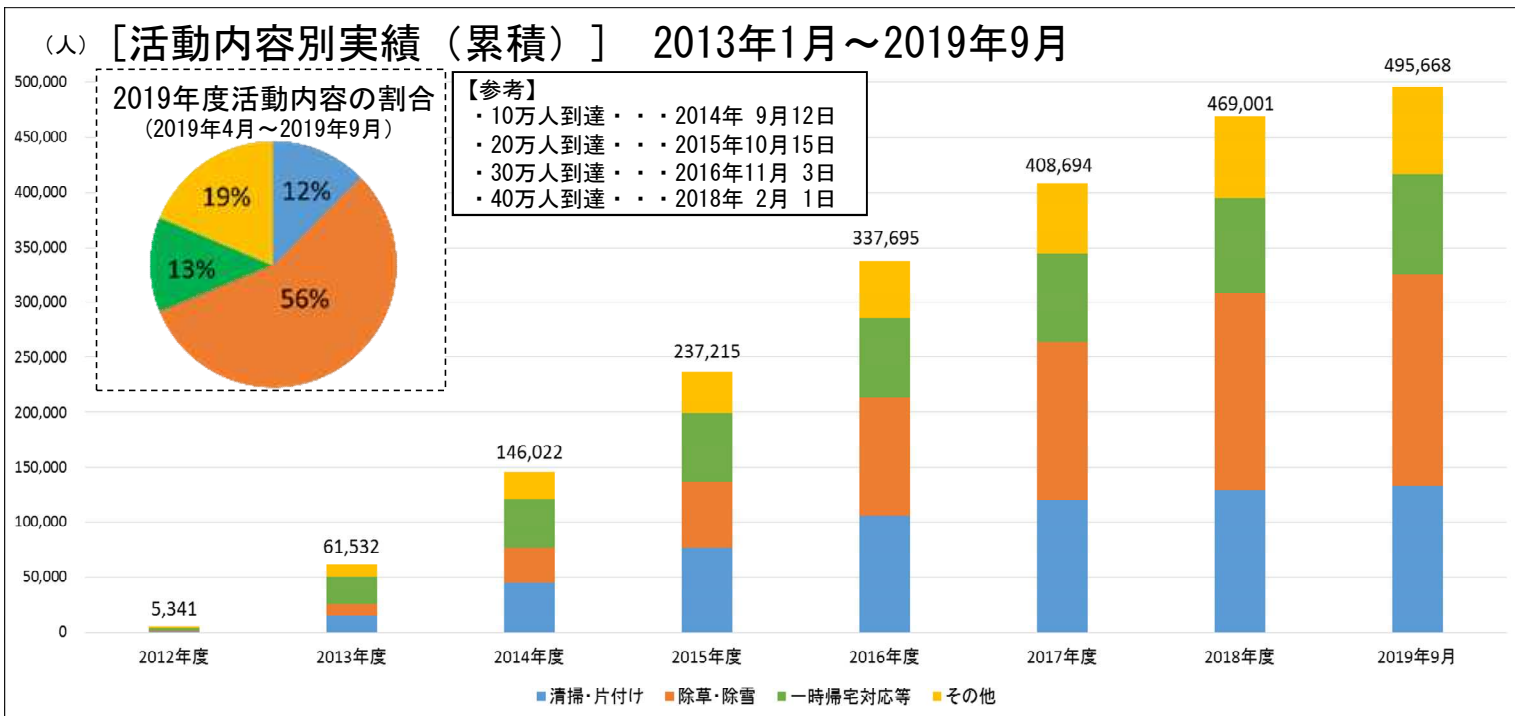
今後の予定

赤花ソバは、枯れた後に農地へすき込む
その後、秋まきの緑肥植物の試験栽培が予定(11月6日種まき)されており、
更なる地力回復に向けて支援を継続予定

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
発芽・開花	■						■	
すき込み		■						
地力回復評価		■						
除草			■					
種まき			■					

9月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
418人 (13%)	1,777人 (53%)	519人 (16%)	606人 (18%)
9月の活動実合計			3,320人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			495,668人



至近の主な取り組み



諏訪神社再建に向けた協力

諏訪神社再建に向けた協力

実施時期	2019年 8月7日、8日 [荷揚げ] 10月7日、28日 [除草作業]
実施場所	双葉町、浪江町 ※両町にまたがる神社
実施人数	社員 延べ 23人 [荷揚げ：15人] [除草作業：8人]
実施内容	<p>【荷揚げへの協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 双葉町の^{もろたけ}両竹行政区からのご依頼により、東日本大震災で倒壊した諏訪神社再建に向けて、社殿の骨組みとなる柱や梁の荷揚げのお手伝いを実施 8月7日の初荷揚げ式には、神社関係者や地域の方々に加え^{おぐるま}尾車部屋の力士の皆さんも参加され、社員は式典後の荷揚げに協力 高台に位置した境内までは道幅が狭く、地域の方々と一緒に声をかけ合いながらリレー方式で荷揚げ <p>【除草作業への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月7日には参道、更に10月28日には完成を控えた社殿周辺の除草に協力 新たな社殿を傷つけないよう十分に養生を施し実施するとともに、社殿周りの落葉の清掃なども実施



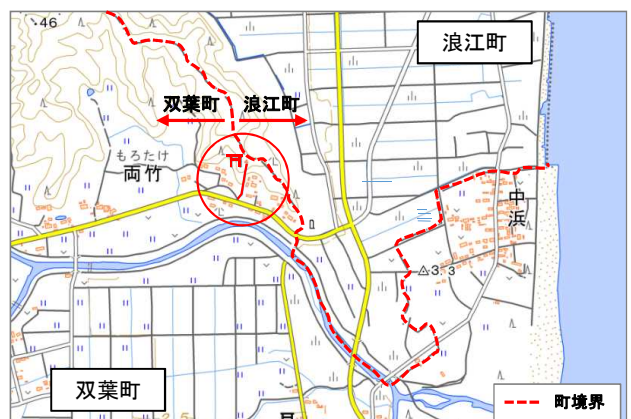
木材の荷揚げ
[2019年8月8日撮影]



除草前後の様子
[2019年10月7日撮影]



完成前の社殿と除草の様子
[2019年10月28日撮影]



出典：国土地理院

「発見！ふくしま」キャンペーンの取り組み

【キャンペーン概要】

2018年度に引き続き、今年度も「発見！ふくしま」キャンペーンを実施

今年度は、「食べて実感、ふくしまの秋」と題し、新米時期に合わせて10月11日から12月20日までの約2か月間に集中して小売店での試食販売会や飲食店でのグルメフェアを開催し、首都圏の皆さまに福島県産品の美味しさや魅力をお伝えする

- 期 間：2019年10月11日(金)～12月20日(金) (71日間)
- 場 所：東京都を中心とした首都圏の小売店、飲食店等
- キャンペーン的主要な取り組み
 - ・ 小売店で試食販売促進イベントを開催し、約2万人の消費者の皆さまに「美味しい体験」を提供
 - ・ 飲食店でグルメフェアを開催し、約5,000食の福島牛メニューを販売
 - ・ 福島ファンのネットワークであるLINE「ふくしま応援隊」の友だち登録数を100万人へ拡大



東武百貨店様池袋店での福島県産新米 試食販売会の様子

【「食べて実感 福島牛グルメフェア」・「産地見学会」の開催】

2019年10月1日から11月30日まで「食べて実感 福島牛グルメフェア」を開催中
首都圏の多くの皆さまに、風味豊かでまろやかな味わいの福島牛を味わっていただく機会をご提供する

(参加店舗 2018年度:13店舗⇒2019年度:38店舗)

グルメフェアの開催に先立ち、参加店舗の皆様には福島牛への理解を深めていただくため、産地見学会をJA全農福島様のご協力のもとで2度にわたり開催

《食べて実感 福島牛グルメフェア》

- 期 間：2019年10月1日(火)～11月30日(土) (61日間)
- 場 所：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の38店舗
- グルメフェアの内容
 - ・ 日頃から黒毛和牛を扱う飲食店への働きかけにより福島牛メニューを扱うグルメフェアとして開催
 - ・ グルメサイトRettyに特設ページを設け、グルメフェアを特集、ご案内

《産地見学会》

- 期 間：【第1回】2019年6月25日(火)
【第2回】2019年9月15日(日)
- 場 所：福島県農業総合センター畜産研究所 (福島県郡山市)
(株)美土里耕産 (福島県大玉村)
JA全農福島直営店「福島牛焼肉 牛豊」(福島県郡山市)
- 実施内容：福島牛検査・肥育状況視察、福島牛試食会



「Retty」特設サイト



福島牛産地見学会の様子

【今後の予定】

《新米・福島牛の試食販売会開催》

- 11月は、首都圏の百貨店様をはじめ、5社27店舗で試食販売会を開催予定

《[2019ふくしままつりin/パンダ広場]の開催》

- 昨年に引き続き、11月16日(土)・17日(日)に、JR御徒町駅前パンダ広場にてふくしま応援企業ネットワークと御徒町駅南口商店会様との共催で、「ふくしままつり」を開催
- 浜通り地域4校の高校生が来場し、自ら企画・開発した商品の販売を予定
- 隣接する松坂屋上野店様で実施する「ふくしまフェア」と連動



2018年11月「ふくしままつり」の様子